

## 平成 29 年度事業報告

### I. 事業の状況

#### 1. 奨学事業

##### (1) 奨学生の選考及び決定

平成 29 年 4 月 11 日開催の選考委員会において、推薦を依頼した指定 25 大学からの奨学生候補者について審査の結果、下表のとおり、一般奨学生 30 名（学部 16 名、大学院 14 名）、特別研究奨学生 5 名の計 35 名を新規に採択し、理事長はこれらを第 16 期小林奨学生として決定し、それぞれの大学に通知した。

これにより、平成 29 年度（第 16 期）の奨学生は、新規採択奨学生 35 名に継続の奨学生 34 名を合わせ、計 69 名となった。

内訳：

種 別		新規採択者	前年度からの継続者	計
一 般 奨 学 生	学 部	16	3	19
	大学院	14	21	35
特別研究奨学生	学 部	1		1
	大学院	4	10	14
計		35	34	69

##### (2) 奨学金の支給

###### ア. 奨学金贈呈式

平成 29 年 6 月 2 日に新規奨学生への贈呈式を行った。

###### イ. 奨学金の支給

奨学生に対し、一般奨学金（学部生月額 15 万円、大学院生月額 18 万円）、特別研究奨励金（月額 20 万円）をそれぞれ 4 月から 1 年間支給した。

##### (3) 学業に関する報告及び生活状況報告

平成 30 年 1 月、奨学生の勉学の状況・成果の報告、生活状況報告を求めた。

##### (4) 平成 30 年度奨学事業関係

平成 30 年 3 月 1 日付けで、平成 30 年度奨学生の候補者の推薦を 21 大学の長あて依頼した（推薦期限は、3 月 29 日）。

## 2. 交流活動事業等

### (1) 奨学生交流会

奨学生交流会を、財団役員、評議員、選考委員及び評議員選定委員の出席を得て次のとおり開催した。

第1回 平成29年6月2日 第16期贈呈式・交流会

第2回 平成29年9月14日～15日（1泊2日の伊勢・志摩研修旅行）

第3回 平成30年3月16日 第16期終了式・交流会

### (2) 「翼」の発行

奨学生相互間、奨学生と財団間の交流に資するための交流誌「翼」第16号を平成30年3月30日に刊行した。

## 3. 研究助成事業

(1) 公募期間：平成29年10月2日～11月6日

(2) 平成29年12月18日開催の選考委員会において下記34件を採択し、理事長は、これらを研究助成受給者として決定し、各研究代表者に通知した。

No	氏名	所属機関及び職名	専門分野	研究テーマ
1	中田光俊	金沢大学 医薬保健研究域医学系 教授	脳神経外科	悪性脳腫瘍に対する抗がん剤の増強効果を有する既存薬剤の抽出
2	林 周作	富山大学 和漢医薬学総合研究所 助授	薬理学 粘膜免疫学	炎症によって傷害された腸管粘膜の修復促進作用を有する、炎症性腸疾患の新たな治療薬の開発研究
3	山崎小百合	名古屋市立大学 大学院医学研究科 教授	免疫学	新しい分子標的によるアレルギー発症予防法の開発
4	茂木精一郎	群馬大学大学院 医学系研究科 皮膚科学・准教授	皮膚科学	全身性強皮症の皮膚硬化における傷害関連分子パターンを標的とした新たな予防・治療法の開発
5	今井啓雄	京都大学 霊長類研究所 准教授	分子生理生化学	苦味受容体に注目した霊長類個体やオルガノイドを用いたアジア産植物由来天然物の生理活性研究

6	淡川孝義	東京大学大学院 医学系研究科 助授	天然物化学 酵素学 合成生物学	生合成酵素の精密解析に立脚した新規インドールテルペノイド生産系の構築
7	長谷耕二	慶応義塾大学 薬学部 教授	免疫学	次世代免疫制御ナノ粒子トレロソームの創出
8	リチャード ウォング	金沢大学 新学術創成研究機構 教授	分子細胞生物学	がん細胞の分子イメージングと革新的ナノがん診断法の開発
9	有澤光弘	大阪大学大学院 薬学研究科 准教授	有機化学 創薬化学	高活性金属ナノ粒子触媒と迅速構造決定法を用いて天然由来非天然創薬ヒット化合物探索法の開発
10	中嶋 藍	東京大学大学院 薬学系研究科 特任助教	神経科学	高濃度水素ガス吸引に伴うアルツハイマー病モデルマウスにおける予防効果の検証
11	大和田智彦	東京大学大学院 薬学系研究科 教授	薬化学	リゾリン脂質受容体アゴシストの創製
12	泉 哲郎	群馬大学 生体調節研究所 教授	糖尿病学 細胞生物学	インスリン分泌制御化合物の同定と作業機序の解明
13	伊藤卓也	富山大学 和漢医薬学総合研究所 准教授	天然物化学 生薬	感染症治療に用いられるインドネシア産伝統生薬の科学的根拠の解明
14	川端猛夫	京都大学 化学研究所 教授	有機化学	無保護糖を用いるグリコシル化法の開発と配糖体天然物の短段階全合成
15	市村敦彦	京都大学大学院 薬学研究科 特定助教	生命薬学	軟骨細胞におけるメカノセンシティブな細胞内 Ca <sup>2+</sup> 応答機構と生理機能の解明

16	松本佳則	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 助教	リウマチ膠原病 内科学	骨粗鬆症克服を目指した骨 免疫制御機構の解明
17	阪口政清	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 独立准教授	細胞生物学	希少漢方「冬虫夏草」中に含 まれる新規抗がん成分の同 定とその薬効解析
18	海野けい子	静岡県立大学 薬学部 准教授	ストレス生物学	認知症予防を目指して 長期スト レス負荷と脂質摂取量の増加が 脳および肝臓に及ぼす影響:テ アニンとアルギニンの作用の違い
19	清木 康	慶応義塾大学 環境情報学部 教授	環境情報学	“5次元 WORLD MAP SYSTEM” を用いたヒトの老化に伴う身体変化 の時系列分析・可視化 AI システム
20	吉田匡秀	自治医科大学医学部 生理学講座神経脳生 理学部門・助教	生理学 神経科学	対人関係ストレスによる抑うつ 作用の神経基盤—新規オキシ トシン神経回路の機能解明
21	橘 信二郎	琉球大学 准教授	微生物利用学	紅麴菌(Monascus 属菌)が産生 する新規機能性化合物および 感染症予防分子の探索
22	松本直樹	東京大学 新領域創成科学研究科 准教授	免疫学 生化学	リュウマチ性疾患を標的とし た新規抗体医薬シーズの創 成
23	高野昭人	昭和薬科大学 教授	生薬学	ヒマラヤ地域の天然資源を用いた創薬 シーズの探索及び有用資源保護と継 続的有効利用のための栽培化
24	山条秀樹	信州大学 医学部 准教授	免疫制御学	炎症反応制御を構成する新 規シグナルネットワークの解 明
25	月田早智子	大阪大学大学院 生命機能研究科 教授	細胞生物学	トランスジェニックマウスの初代培養細胞を 用いた革新的な高分解能・長時間のライブ セルイメージングによる、細胞成熟課程での 気道繊毛上皮細胞の多繊毛協調運動の形 成機序を探索する研究

26	河野大輔	群馬大学 先端科学研究指導者 育成ユニット・助教	生理学 分子生物学	DNA メチル化修飾制御の肥満発症における役割の解明
27	川端重忠	大阪大学大学院 歯学研究科口腔細菌 学教室・教授	細菌学	病原レンサ球菌の進化に対応する新たな感染制御法の探索
28	山梨豪彦	鳥取大学 医学部附属病院 助教	分子精神医学	中鎖脂肪酸油は新しい抗うつ治療になり得るか？
29	川畑伊知郎	東北大学大学院 薬学研究科 助教	神経薬理学 薬物療法学	新規 V-1/CP 複合体を標的とする漢方および天然化合物を用いたアルツハイマー病・パーキンソン病根本治療の創薬研究
30	渡辺志朗	富山大学 和漢医薬学総合研究所 准教授	脂質生化学	生活習慣病治療に用いられる漢方薬の腸管内の胆汁酸濃度ならびに糖・脂質代謝異常に及ぼす影響の評価
31	ウォン チン ピァウ	富山大学 和漢医薬学総合研究所 助教	天然物化学	過酷な環境下に棲息する微生物からの生物活性化合物の探索
32	藤原博典	富山大学 和漢医薬学総合研究所 助教	神経薬理学 生薬薬理学	自閉症スペクトラム障害の新規発症抑制因子である神経ステロイド allopregnanolone のエピジェネティクス制御および和漢薬作用に関する研究
33	道川 誠	名古屋市立大学 医学研究科 教授	生化学	アルツハイマー病分子病態に対するラクトフェリンの効果に関する研究
34	上杉志成	京都大学 化学研究所 教授	ケミカルバイ オロジー	天然化合物によるタンパク質翻訳後修飾

## Ⅱ. 処務の概要

### 1. 会議等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 29 年 6 月 2 日	1. 平成 28 年度事業報告及び収支決算について	全会一致で承認・可決
	2. 選考委員（研究助成事業）の選任について	全会一致で承認・可決
	3. 職務執行状況の報告について（報告）	
平成 29 年 7 月 22 日 （決議の省略）	1. 平成 29 年度事業計画及び収支予算の変更について	全会一致で承認・可決
平成 30 年 1 月 11 日 （決議の省略）	1. 平成 30 年度臨時評議員会の開催及び招集について	全会一致で承認・可決
平成 30 年 3 月 16 日	1. 平成 30 年度事業計画及び収支予算について	全会一致で承認・可決
	2. 株主権の議決権行使について	全会一致で承認・可決
	3. 平成 30 年度定時評議員会の開催について	全会一致で承認・可決
	4. 職務執行状況の報告について（報告）	
	5. 内閣府立入検査報告（報告）	

#### (2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 29 年 5 月 18 日 （決議の省略）	1. 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の改正について	全会一致で承認・可決
平成 29 年 6 月 20 日	1. 平成 28 年度事業報告について（報告）	
	2. 平成 28 年度決算の承認について	全会一致で承認・可決
	3. 役員（理事）の改選について	全会一致で承認・可決
平成 29 年 7 月 22 日 （決議の省略）	1. 平成 29 年度事業計画及び収支予算の変更について	全会一致で承認・可決
平成 30 年 3 月 16 日	1. 平成 30 年度事業計画及び収支予算について	全会一致で承認・可決
	2. 株主権の議決権行使について（報告）	
	3. 平成 30 年度定時評議員会の開催について（報告）	
	4. 職務執行状況の報告について（報告）	
	5. 内閣府立入検査報告（報告）	

(3) 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 29 年 4 月 11 日	平成 29 年度奨学生の選考 (申請者数：一般奨学生 42 名、特別研究 奨学生 8 名)	書類審査により、一般 奨学生 30 名、特別研 究奨学生 5 名の計 35 名を新規に選考
平成 29 年 12 月 18 日	平成 29 年度研究助成の選考 (申請件数 70 件)	書類審査により、新規 に 34 件を選考